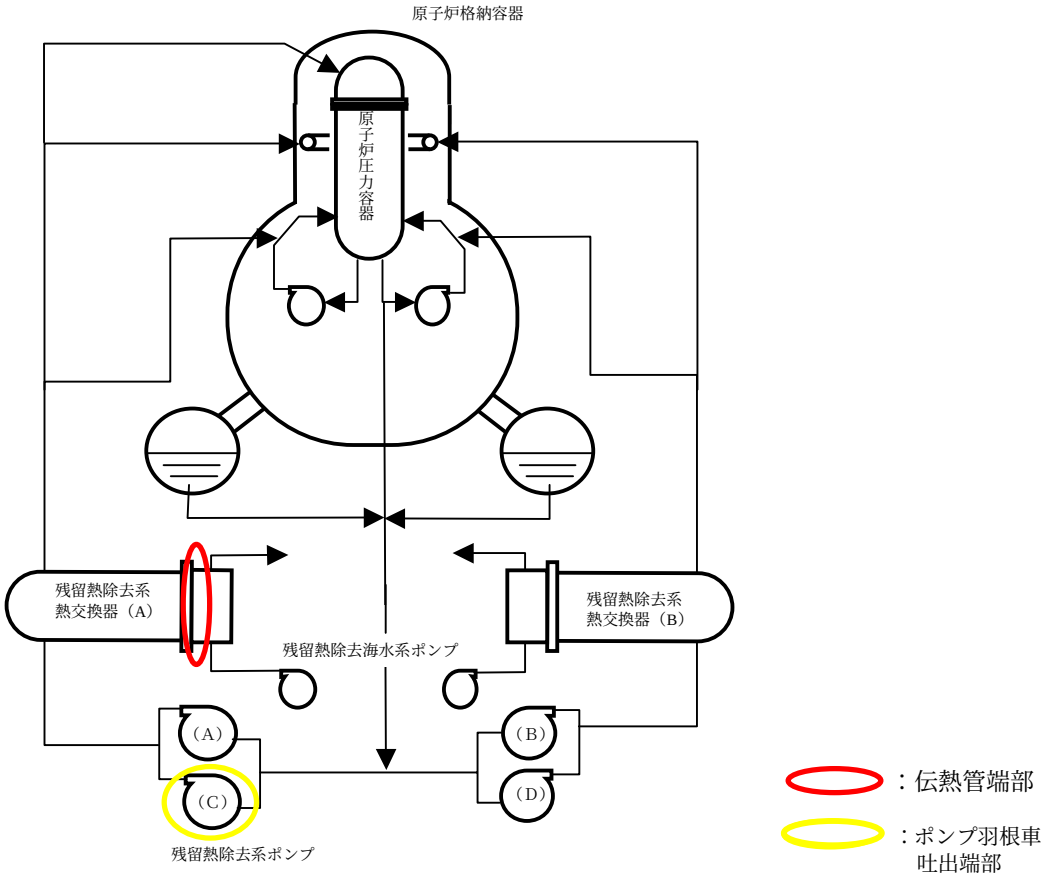
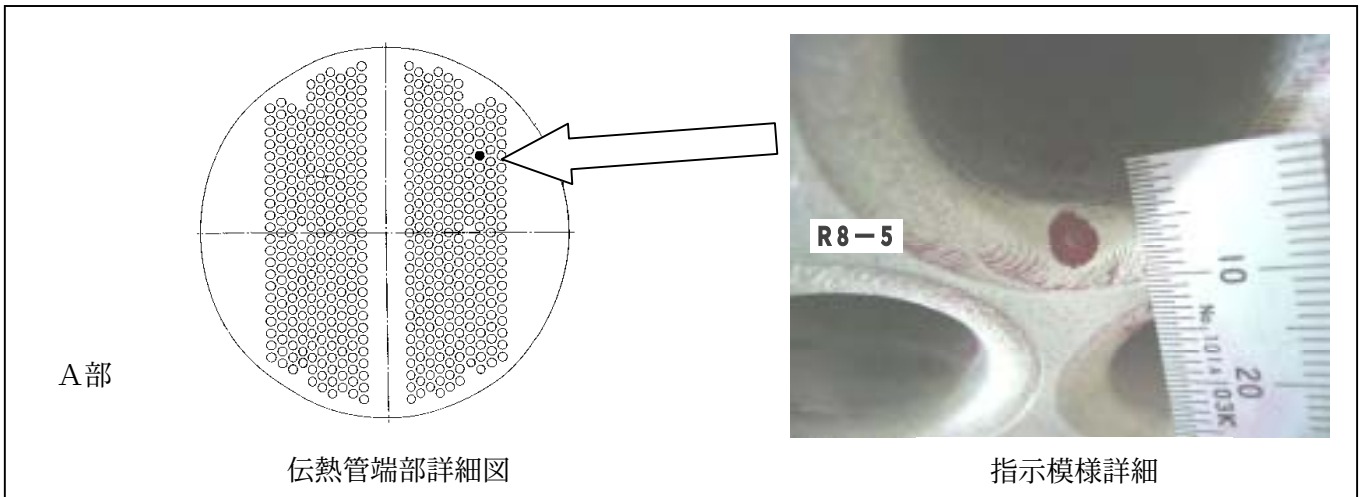
女川原子力発電所　定期検査・主要機器点検情報

Ｎｏ．４　　（平成１８年２月分）

号　　機	１号機		定 期 検 査	第１７回定期検査	
件　　名	残留熱除去系熱交換器（A）およびポンプ（C）の浸透指示模様について				
月　　日	平成18年2月18日（土）、27日（月）		発　生	発　見	確　認
場　　所	原子炉建屋	設　　備	残留熱除去系	設備区分	安全上重要な系統
設備概要	残留熱除去系は、原子炉を停止した後に、炉心より発生する崩壊熱を除去・冷却するための系統で、冷却材喪失事故時には非常用炉心冷却系（ＥＣＣＳ）として原子炉格納容器を冷却するように設計されています。				
所　　見	・ 残留熱除去系熱交換器（A）の開放検査において浸透探傷検査※を行ったところ、伝熱管端部に４×５mmの円形指示模様が発見されました（２月１８日）。 ・ 発見された指示模様を評価した結果、技術基準で定める伝熱管の機能（耐圧機能、漏れ止め機能）を満足しており、強度上問題がないことを確認しました。 ・ 指示模様が発見された部位については、手入れを行った上で、念のため、溶接補修を実施します。 ・ 残留熱除去系ポンプ（C）の分解検査において浸透探傷検査※を行ったところ、ポンプ羽根車の吐出端部に２箇所（長さ４．５mm、３．０　mm）の線状指示模様が発見されました（２月２７日）。 ・ 指示模様が発見された部位は、機能上問題はありませんが、念のため、手入れを行います。 ※ 浸透探傷検査とは非破壊検査の一種で、探傷剤を使用して傷を見つける検査。				

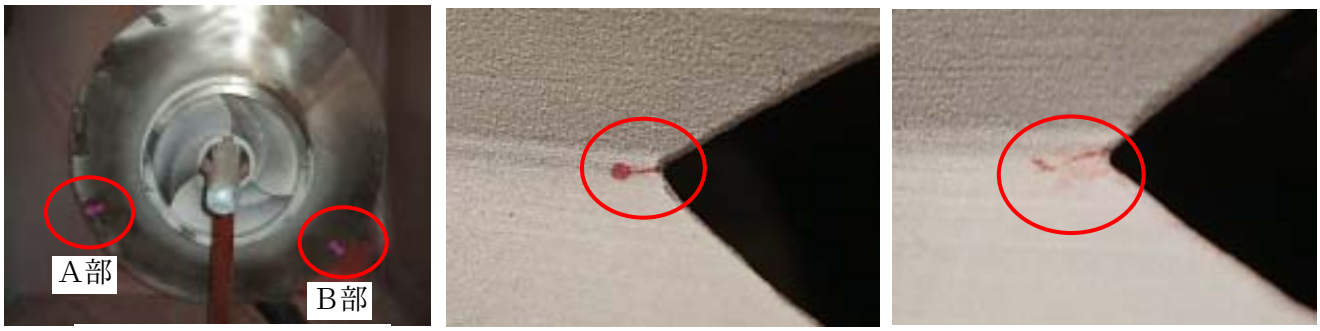


残留熱除去系系統図



伝熱管端部詳細図　　指示模様詳細

残留熱除去系熱交換器（A）伝熱管部



ポンプ羽根車概要図　　A部詳細　　B部詳細

：指示模様位置

残留熱除去系ポンプ（C）ポンプ羽根車吐出端部部